

団 体 名	網走川流域の会
事 業 名	人・産業・自然が共生する網走川流域づくり

網走川流域の会は、網走川流域の豊かな恵みを次世代に引き継ぎ、持続可能な流域社会の構築を目指して活動しております。北海道 e-水プロジェクトの助成金は、平成 28 年度に引き続き 2 年目となります。本年度の事業は昨年開始した流域の小学生を対象とした流域学習事業の更なる発展に向けた「流域学習醸成事業」と、若手の積極的な参加や次世代の人材育成を目指した「次世代人材育成・次世代ネットワーク構築事業」を実施いたしました。

流域学習醸成事業では網走川流域在住の小学生を対象として 7 月から 10 月まで計 5 回、川での生き物探し、川の始まり探し、流域で営まれている豊かな農業・酪農業の体験学習、鮭の水揚げや採卵受精体験を行いました。また、本年度は流域学習事業のふり返しを行うと共に、流域学習事業で訪れた場所で生産された農作物と漁獲物を自分たちの手で調理し「網走川流域シチュー」を作り、流域の自然環境と人が生活するために必要な産業の関係について食をとおして学ぶ事ができました。また、流域学習の普及啓蒙強化のために、美幌博物館の協力により、網走川流域の代表的な生物および植物を描いた「網走川流域の会 with 美幌博物館手ぬぐい」を制作し、学習の啓蒙・普及に役立てました。



さらに、流域学習の今後の発展と安全対策の向上のために川遊び安全対策講習（RAC サブリーダー研修）を開催し人材教育・育成を行いました。

次世代人材育成・次世代ネットワーク構築事業では、網走川流域の各自治体で活動している青年を中心とした団体の皆さんにお集まりいただき、網走川流域の会について知ってもらおうと共に、今後の活動の発展を目指した意見交換会を開催しました。



また、青年団体の交流促進と流域の魅力再発見を目的として、網走川流域における農業と漁業の連携の仲介役である元北海道開発局の染井順一郎氏（現在は（公財）京都健康管理研究所／管理栄養士）と河口八重子氏（ナツクリエイト）を講師に招き、「網走川流域物語ランチプレート交流会」を開催しました。網走川流域の食材による料理をランチプレートならべ、それぞれが持っている網走川流域の物語をランチプレートに表現することにより交流を促進すると共に、流域の豊かさを舌で感じ、自分たちが住む流域の魅力を再発見しました。



このような取り組みが、流域における人の繋がり、自然環境の繋がり、産業の繋がりに関する共通認識を醸成し、上流に住む人はきれいな水を下流に流す「上流の誇り」を、下流の人は美しい水を守る上流の人に対して「感謝」の気持ちを育み、その気持ちが持続的に発展する流域社会の構築につながると考えています。私たちは今後もこのような取り組みを継続し、自然と人と産業が共存する網走川流域社会を目指してきたいと思ひます。

網走川流域の会